

8月のまちの話題

サントリーフーズ(株)と防災協力協定

社会貢献として災害時には自動販売機の飲料が無償提供等

サントリーフーズ(株)と厚真町が八月十一日、役場町長室で「災害時における飲料供給に関する協定書の調印式が行われました。この協定は、災害時に役場庁舎と町スポーツセンターに設置した二台の緊急時飲料提供自動販売機内の飲料が無償で町に提供を受けることができるほか、備蓄用飲料水として二リットルの天然水ペットボトル百二十本の無償提供(二年ごと)に交換、また、有償で飲料水の提供を受けることができる内容となっております。調印後、宮坂町長が「行政の備蓄には限界があり、国民の安全安心の確保のため社会貢献されている貴社に心から感謝したい」とお礼の言葉を述べると、樋口吉信同北海道支社長が「阪神淡路大震災から水をテーマに社会貢献活動をしています。管内では厚真が初。少しでもお役にたてれば」と応えていました。



協定書を交わす樋口支社長と宮坂町長

祖先の思い脈々と 齊藤さん(軽舞)宅古民家再生

NPO法人北の民家の会が主催する古民家再生見学会が八月八日、齊藤信寛さん(軽舞)の再生された住宅で行われました。齊藤さんは、先代が百年以上前に建てた住宅の再生を岩見沢市にある業者に依頼。今年二月に解体、梁や柱などの部材を最大限に活用し、一部二階建て約百三十㎡の歴史と新しさが融合した住宅が八月始めに完成しました。齊藤さんは「先代が残してくれた材料はいたるところで活用されている。前の家から巣立っていった家族が訪れたときに思い出し、前もって先代に対するお礼と感謝だと思おう」と町内外から集まった約八十人の参加者を前にそう話していました。



見事な梁(上) 外観(左下) あいさつする齊藤さん

アジアはひとつ。両国のかけはしになって

町国際交流協会(館山春会長)が、苫小牧駒澤大学に勉強している韓国と中国から訪れた留学生4人を8月21~24日の日程で招き、町内3家庭にホームステイし、その家族や町民と交流を深めました。21日、来町した留学生と受け入れ家庭の対面式と茶話会が行われ、館山会長が「アジアは一つという希望を持っている。国と国とは難しいこともあります。個々の相互理解を深めて日中、日韓のかけはしになってほしい」と留学生に歓迎のあいさつ。留学生の皆さんは、23日には集まりで競技種目に参加し町民と交流を深め、また24日には上厚真小学校を訪問し、児童たちと質問コーナーやゲーム、給食を一緒に食べて日本や厚真を理解しようとしていました。



(上) 受け入れ家庭などと記念撮影 (中) 茶話会で受け入れ家庭と懇談 (下) 上厚真小学校で児童と交流

役場若手職員PT アツマ タウン ガイドを製作

役場若手職員4人のPTが4月から製作作業を進めていた「ATSUMA TOWN GUIDE」が8月末に完成しました。4人は厚真の新しい魅力を発見し、主に臨海施設ゾーンへの来訪者を厚真市街地に呼び込もうとパンフレットづくりに取り組み、取材を行い、文章やレイアウトなど話し合いを重ねながら製作。パンフレットはA5判のカラー刷り6冊で、厚真市街地の店舗や農園などを盛り込みイラスト調で描かれ親しみやすいものとなっています。PTでは1500部を印刷し、PR活動に役立てていきます。



パンフを製作したPTメンバー

「働くことは楽しいです」 厚中生徒職場体験

厚真中学校(濱口明雄校長)の二年生二十四人が八月二十、二十一日の両日、町内の事業所や農家、施設など十一カ所で職場体験をしました。中川商店に受け入れられた、三上勇さんと高橋悠香さんは「接客の仕事をしたかったのでガソリンスタンドを希望しました。すごく楽しいです」と口をそろえ笑顔でそう話し、「ありがとうございました」大きな声でお客さんを見送っていました。



万が一を想定し サスマタ講習会

町小中高生徒指導研究協議会(吉田裕二会長・富野小校長)が八月二十四日、サスマタ実技講習会を富野小学校で行い、約三十人の教職員が警察官から効果的な使い方や学びました。サスマタは、刃物を持った犯人を制するために作られた道具で、万が一、学校などに侵入した不審者へ対しても規制したり自分の身を守る有効な道具として、町内の全学校に備え付けられています。



▲ギネス登録書

ギネスに登録されている 最長サーフボードが本町に

スポーツ用品店・株ムラサキスポーツから8月8日、ギネスブックに登録されている世界最長9.2mのサーフボードが町に寄贈されました。昨年8月、浜厚真で俳優の真木蔵人さんがこのボードを乗りこなし、ギネスに申請し登録されました。この寄贈は、町域臨海部をまちづくりにつなげようとしている役場若手職員4人のプロジェクトチーム(PT)の活動に同社が賛同したものです。ギネス登録書とともにボードの寄贈を受けた古川副町長は「しかるべきところに展示したい」とお礼を述べていました。

いい汗かいたね

第9回集まりンピック(第44回町民体育祭)



■あっちこっちどっち 3人1組で前後の人は目隠しをして真ん中の人が誘導。最初の種目から笑顔がはじけた。



■色あわせ 幼児とシルバーが同じ色のカードを合わせる種目。手をつないで仲良くゴールする姿はほほ笑ましい。



■チャレンジ・ザ・ギネス 長縄跳び。跳ぶ人も縄を回す人も体力を要します。今年は西町自治会の55回が最高でした。



■スター券の配布 種目ごとに参加者にはスター券が配られ、商工会テントで日用品やおもちゃなどと交換できます。

第9回集まりンピック(第44回町民体育祭)が8月23日、かしわ公園野球場を会場に行われ、12自治会の参加とオープン参加した町民の皆さんが運動会形式の催しを楽しみました。



■開会式終了後ラジオ体操 参加した自治会員や一般参加した町民の皆さん全員でラジオ体操で体をほぐす。昭和55年に宣言した町民体力づくりの町らしい光景でした。



■パラシュートリレー 2人1組でパラシュートがバトン代わり。空気の抵抗を受けますが馬力のある厚真人は平気。



■ダービー バック走⇒2人3脚⇒3人4脚⇒4人5脚とリレー。4人5脚は大変むずかしそうです。

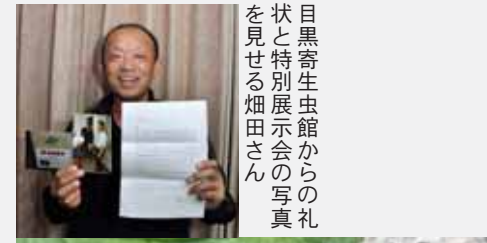


■たま入れ 運動会の定番種目。写真は23年ぶりに参加した共栄自治会。来年の出場もお待ちしております。



■初恋の味 シルバー対象の種目。後方に広がる青空の下、飲み干すジュースの味が良かったですか？

めずらしい寄生虫を厚真で発見 畑田さん(共栄) 東京に送り反響



目黒寄生虫館からの礼状と特別展示会の写真を見せる畑田さん



触覚に現れたロイコクロリディウムの幼虫

畑田健さん(共栄)が務めている浜厚真の事業所で、生きて捕獲することがめずらしいカタツムリの寄生虫、ロイコクロリディウムの幼虫を見つけ、東京にある目黒寄生虫館に送ったところタイミングよくその寄生虫の特別展が行われている最中で、生きているロイコクロリディウムの幼虫を見た来館者や関係者に反響を呼びました。

7月28日に畑田さんたちは、事業所の庭で黄緑色の触覚を出している奇妙なカタツムリを発見。興味を持った畑田さんは各方面に問い合わせ調べた結果、鳥に食べてもらうためイモムシのふりをし、カタツムリにしか寄生しないロイコクロリディウムの幼虫と分かり、同寄生虫館に寄贈しました。畑田さんは「寄生虫という気持ち悪いイメージがありますが、これを見たとき何か引かれるものがあったんです。東京でたくさんの人に反響があったみたいで意外でした。こんな寄生虫がいるのは野鳥が飛来してくるウトナイ湖が近いかもしれませんね」とめずらしい寄生虫の発見に驚いていました。

「今シーズンの成果を記録に残して」

第29回小中学校水泳記録会が8月29日、中央小プールで行われ町内小学校から64人の児童が参加し力泳していました。開会式で大会長の兵頭教育長が「今シーズンの成果を記録に残すよう頑張ってください」と児童を激励。プールサイドで見守る児童や保護者の声援に後押しされた選手たちは、水しぶきを上げ力を尽くして泳いでいました。

大会新記録は次のとおり▶小3男子ビート板25分 高田智弘(上小) 38秒62 ▶小3女子背泳ぎ25分 畑田真穂(同) 25秒52 ▶小6女子バタフライ25分 松永百華(中央小) 20秒51 ▶小6女子平泳ぎ50分 海沼なつ実(上小) 51秒95 ▶小6女子自由形100分 同(同) 1分33秒18



声援に包まれる最終種目混合リレー

尊い犠牲の上に今日の平和と繁栄

平成21年度厚真町戦没者追悼式が8月28日、総合福祉センターで行われ、遺族や来賓約60人が参列し献花などを行い英霊の冥福を祈り恒久平和への誓いを新たにしていました。宮坂町長が「今日の平和と繁栄は、先の大戦で戦火に倒れられた戦没者の方々とかげがえのない肉親を亡くされたご遺族の努力の上に築かれたもの。戦争の悲惨さと平和の尊さを次世代に継承していく」と式辞。町遺族会の大岩滋雄会長が「平和な今日こそ戦争の悲惨さと幾多の尊い命が犠牲になったことを次の世代に語り継ぐのが遺族の務め」と参列者に述べていました。



献花を捧げる参列者

海猿さんから浮き方教わったよ

(社)日本水難救済所浜厚真救難所(澤口伸二所長)が主催して8月28日、富野小学校プールで富野小・軽舞小全児童26人が、万が一水の中に足を滑らせたときを想定した着衣水泳などを学びました。海上保安庁の潜水士が「溺れたときには浮いていなければ見つけることがむずかしい。今日はペットボトルなど身近な道具を使って浮かんでいられる練習をしよう」と児童たちに話し、早速服を着て靴を履いたままプールに入水。濡れた服が負荷になりながらも児童たちは真剣に水に浮く方法に取り組んでいました。



潜水士の指導で浮き方を学ぶ児童たち